

令和9年度4月入学

大学院人間文化総合科学研究科（博士前期課程）入学試験問題

【一 般 選 抜】

人文社会学専攻
地理学コース

〔専門科目〕

試験日：令和8年8月28日（金）

注 意

1. 解答は、別添の解答用紙に記入すること。
なお、解答用紙には受験番号及び氏名を記入すること。
2. 総ページ数 4 ページ
3. 試験終了後、この冊子は持ち帰ること。

第Ⅰ問 次の6つの用語のうちから3つを選び、その意味や内容について、具体的に説明しなさい。解答にあたっては、選択した番号と用語を明記し、解答を解答用紙に記しなさい（解答順は問わない）。なお、必要に応じて図表などで示してもよい。

- (1) 地場産業
- (2) 人文（人間）主義地理学
- (3) 南海トラフ
- (4) 偏西風
- (5) 変動地形
- (6) マスツーリズム

第Ⅱ問 以下の問1～2のうちから1つを選び、解答用紙の所定の欄に選択した問の番号を明記して、解答しなさい。なお、必要に応じて図表などで示してもよい。

問1 下の図は、日本列島における2000年と2020年の標高別の人口分布を示したものである。図を参照して、以下の設問にすべて答えなさい。

図は、著作権の関係で掲載しておりません。

図 日本列島における標高別の人口分布

注：人口のデータは国勢調査による。人口総数は2000年に1億2,693万人、2020年に1億2,615万人。

資料：森田匡俊・小野映介「日本列島における標高別の人口分布の特徴と推移」

E-journal GEO, 19(1), 65-77, 2024年。

- 1) 図から読み取れることを述べなさい。
- 2) 人口の分布や増減が標高によって異なる理由や背景について、標高の値や地形に注目しながら説明しなさい。

問2 下の図は、全国約150万人のスマートフォンアプリ「トリマ」（移動をポイント化するアプリ）利用者の歩数データ（2020年10月）を用いて、市区町村別の1日当たりの歩数平均値を示したものである。図を参照して、以下の設問にすべて答えなさい。

図は、著作権の関係で掲載しておりません。

図 市区町村別1日当たり歩数平均値

注：分析対象外の市区町村は白色で表示。また、一部の島嶼部は省略。

資料：東京大学大学院工学系研究科HP（「全国150万人のデータからみた歩数の地域・社会経済的格差」）

- 1) 図から読み取れることを述べなさい。
- 2) 1日当たり歩数平均値の分布について、どのような地域の特徴と関係があると考えられるか、具体的に説明しなさい。